

平成30年11月14日
運輸安全委員会

JR北海道千歳線新札幌駅で発生した鉄道重大インシデントに関する情報提供

運輸安全委員会は、11月9日にJR北海道千歳線新札幌駅構内で発生した鉄道重大インシデントに関して、11月14日、国土交通省鉄道局へ情報提供を行いました。

1. 鉄道重大インシデントの概要

11月9日（金）12時40分頃、JR北海道千歳線新札幌駅構内で、下り第1出発信号機が線路方向に倒壊し、上下線をふさいだ。上り普通列車は、線路上の支障物（信号機）を発見し、約15m手前で停止した。

2. 鉄道局への情報提供の内容（別紙参照）

倒壊した信号柱は高架橋に設置されており、高架橋のコンクリート躯体にアンカーとボルトを用いて固定されていたが、コンクリート躯体に打ったアンカーが8本とも抜けており、コーン（くさび）が躯体側の穴の中に残存している状況であった。

また、アンカーは、打ち込むとコーンによってスリット部が広がる構造となっているが、抜けたアンカーはいずれも広がっていない状況であった。

本重大インシデントの原因等については今後詳細な調査を行う予定である。

【問い合わせ先】

運輸安全委員会事務局 広報室 沖、祖父江

電話 03-5253-8819（直通） FAX 03-5253-1680



倒壊した信号機の台座(横)



倒壊した信号機の台座(下面)



アンカー(下面)



アンカー(横)

倒壊した信号機の台座箇所



コーンが穴の中に残留



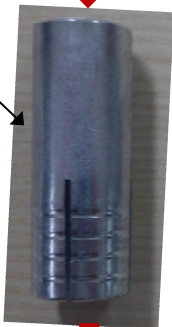
施工方法

- コンクリート躯体にドリルで穴をあけ、コーン、アンカーを挿入
- ハンマーで打ち込むことにより、アンカー下部が広がり躯体に固定
- ボルトをアンカーに挿入して締結することにより、信号機の土台を固定

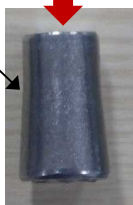
ボルト (新品)



アンカー (新品)



コーン (新品)



左 : コーン挿入後に取外した状態
右 : コーン挿入前の状態



左 : コーン挿入後に取外した状態
右 : コーン挿入前の状態

